



書籍紹介

「医」と「薬」をキーワードに、編集部が選んだ一冊をご紹介します

こちらのQRコードの応募フォームからご応募いただいた方から
抽選で合計6名様に当書籍をプレゼント



誰も教えてくれなかった 実践薬歴 改訂版

著者:山本 雄一郎
発行:2024年9月
価格:3,520円(税込)
212ページ、A5判

本書籍
ご購入は
こちらから



勉強のために読んだ本の感想が「面白かった」だと、果たしてちゃんと勉強したのか怪しまれてしまうかもしれませんが、この実践薬歴は読んだ後にやはり「面白かった」と言いたくなります。それは多分、この本で整理・言語化されている内容を通して、「日頃から自分がやっている薬剤師としての仕事」の可能性や奥行きに改めて気づけるからだと思います。

「薬歴」は薬剤師の仕事の重要なツールである一方、その書き方を詳しく教わる機会はほとんどなく、多くの方が試行錯誤しながら「我流」で書いている実情があります。

そのため、確かにこの本が「薬歴の書き方」を学ぶのに最適な参考書となるのは間違いありません。

しかし、実践薬歴が「薬歴の書き方」を指南するテクニック本かという、実はそうではないと私は考えています。この書籍のなかでは一貫して、「良い薬歴を書くためにはどうするか」ではなく、「患者さんに対して上質な薬学的管理・服薬指導を行うための考え方」が示され、これを実践したことの結果として、薬歴が「うまく書けるようになる」というベクトルで書かれているからです。薬機法改正による薬歴の法的な位置づけ、電子薬歴の普及、診療ガイドラインや患者指導箋の改訂といった時代の流れにあわせて「改訂版」が作られたのも、この本が薬歴のための小手先のテクニックではなく、「自分は患者さんのために何ができるのか、何を学び続ける必要があるのか」という薬剤師の職能の本質に触れるものであることの証左だと思います。

薬学で患者さんの役に立つという「薬剤師の王道」を進むにあたって、これほど読んでいて面白く、心強い指針になってくれる本はなかなかありません。進むべき方向に迷ったとき、ぜひ何度も読み返して欲しいと思います。(評 児島 悠史 Fizz-DI)



治療薬ハンドブック 2025 薬剤選択と処方のポイント

編集:堀 正二、菅野 健太郎、
門脇 孝、乾 賢一、林 昌洋
発行:2025年1月
価格:4,950円(税込)
1,888ページ、B6変型判

本書籍
ご購入は
こちらから



「知りたい」を、どこでも。——皆さんご存知の「治療薬ハンドブック」の最新版です。2025年版のポイントは以下のとおりです。

「授乳婦」の項目を新設

書籍『授乳婦と薬 第2版』掲載の分類基準が新しく追加され、患者リスクに応じた処方・調剤に便利な情報が、さらに充実しました。

包装単位情報を強化

分包品とバラ包装がある薬剤などについては、包装単位の記載を大幅に拡充しました。薬剤の選択・比較に便利です。かゆい所に手が届く情報量で、多忙な日常業務のサポートに。

RMP資料の有無を掲載

調剤報酬改定でRMPへの注目度が高まっています。RMPが公表されている製品の患者用資材の有無も載っています。

また、治療薬ハンドブックには、無料で使えるアプリの付録があります。アプリでは、治療薬を製剤単位で検索でき、AGも含めた後発医薬品や薬価なども調べられます。また、書籍に封入されているシリアルコードを入力することで読者限定機能を利用でき、製剤写真や独自の臨床情報のほか、各薬効群について詳細を解説している「総説」など書籍同様の情報を閲覧可能となります。